

狛江市平和都市宣言朗読劇 2021

M2 次は毎年恒例の「狛江市平和都市宣言」の朗読劇です。この平和フェスタはこの平和都市宣言を実践しようという思いから始められました。この平和フェスタの原点となっているものです。観ながら聞きながら一緒にいろいろ考えてみたいと思います。

(脚本・演出 二階堂まり 出演 A：大政晶子 B：片山絵里 C：二階堂まり)



当日、最終調整する出演者たち

左から二階堂さん、片山さん、大政さん

A 「狛江市平和都市宣言」(Bが黒板を指さす)

われわれ狛江市民は、「日本国憲法」の前文と世界の恒久平和を達成するという精神および第九条に記された「戦争の放棄、交戦権の否認」を狛江市および狛江市民の行動原理として高く掲げたい、と思う

B 憲法の「前文」ってちゃんと知ってる？

A あんまり馴染みがないなあ。

B だよ。でも改めて読んでみると素晴らしいよ。一部を読んでみるね。

われらは、いずれの国家も、自国のことのみを専念して他国を無視してはならないのであって、政治道徳の法則は、普遍的なものであり、この法則に従ふことは、自国の主権を維持し、他国と対等関係に立たうとする各国の責務であると信ずる。

A 「自国のことのみを専念して他国を無視してはならない」素晴らしいね！

B 今の日本は、自国民のことさえ考えないで自分の利益のことばかり考えてるよね。

A んー。じゃ、次に行くよ。

われわれのこの行動原理は、ヒロシマ、ナガサキ、第五福竜丸と三度にわたる原爆被爆の痛切なる体験にもとづき、かかる悲劇が二度とふたたび人類社会において繰り返されてはならないとの確信にもとづくものである。

B 第五福竜丸のことはちゃんと知ってる？

A 南太平洋沖でアメリカが水爆実験をして、その放射能を浴びたんだよね。

B マグロ取り漁船の23人の乗組員が被爆した。ほかにも、多くの漁船やマーシャル諸島の人たちが被爆で命や健康を奪われた。

C 日本だけでも千隻以上の船が被爆したのよ。1954年3月1日ね。私は小さかった



われわれ狛江市民は、「日本国憲法」の前文と世界の恒久平和を達成するという精神および第九条に記された「戦争の放棄、交戦権の否認」を狛江市および狛江市民の行動原理として高く掲げたい、と思う

けど、雨が降ると、「濡れると放射能で頭が禿げるー！」って言ってみんなで逃げ回ったのを覚えていますよ。

A B えっ！すごい！まりさん、リアルタイム？！

C マグロを食べちゃダメ！と言われたのも覚えてますよ。

この本知ってる？

A 「ここが家だ」ベン・シャーンの第五福竜丸。文はアーサー・ビナードさんだ。

C 絵里、この辺読んでみて。最年長の久保山愛吉さんは八月に容態が急に悪くなったの。

B (38ページ) 9月23日久保山さんの心臓は止まった。「原水爆の被害者は私を最後にしてほしい」といって彼はなくなった。ひとびとはわかってきた。ビキニの海も日本の海もアメリカの海も、ぜんぶつながっていることを。原水爆をどこで爆発させても、みんなが巻き込まれる。「久保山さんのことを忘れない」と人々は言った。けれど、忘れるのをじっと待っている人たちもいる。人々は原水爆をなくそうと動き出した。けれど、新しい原水爆をつくっていつか使おうとしている人たちもいる。実験はその後、千回も二千回も繰り返されている。

C 後で「トビウオのぼうやはびょうきです」という動画をやるのよ。よく見てね。

A この時の話なんですか？

C そう。この第五福竜丸の被爆が、日本の核兵器禁止運動の出発点になったんですよ。

B でも、今でも、世界には広島型原爆の約20倍の威力のある核弾頭が約1万5千発もあるんでしょ？人類を何回も絶滅させることができる数！

A えー、なんで！？やばいじゃん。でも「核兵器禁止条約」ができたんですよ！

C お！よく知ってるね。絵里は詳しく知ってる？

B 「核兵器禁止条約」は2017年の7月に国連総会で審議され、国連加盟国193か国の内122か国が賛成して採択された。そして、批准が50か国に達したので(90日後)今年の1月22日に国際条約として発効(効力を持つ)したんだ。

A 具体的には、何を禁止しているの？

B 内容は、核兵器の開発、製造、実験、使用、備蓄、移譲、使用すると威嚇(核の傘に入るのはこれ)を禁止しているの。(新聞の絵①を見せる？)

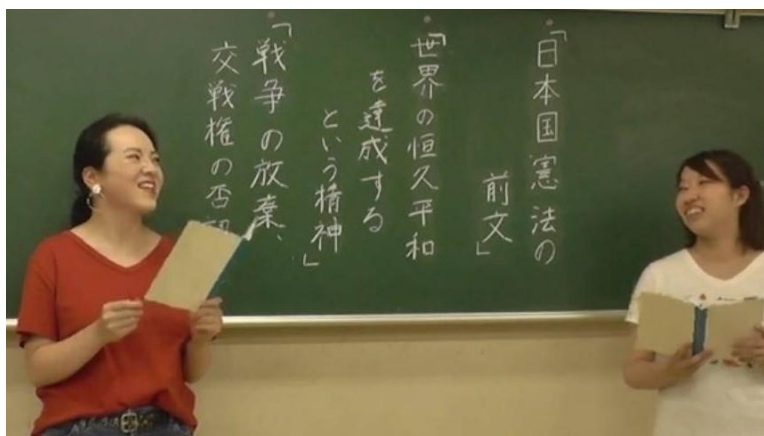
C (移譲のところで)ほかに譲るという意味ね。

威嚇のところだけど、日本はアメリカの核の傘の下に入っているとされるけど、アメリカの核兵器に守られているという考え方ね。これはこの使用すると威嚇に当たるんだよね。

A なるほど！でも。日本は唯一の戦争被爆国として貢献してないんですよ？

B その条約案を作るための交渉会議にも参加しなかったんだよ。

C 国連総会にも欠席した。世界中ががっかり。総会の際は誰もいない日本の席に千羽鶴



が置かれていたの。

- A さっきまりさんが言った、アメリカの核の傘の中に入っているから？
- B そう、オバマ元大統領が「核兵器先制不使用宣言」をしようかと検討してたときに
- A ああ、核兵器を先に使わない！ってね。覚えてます。
- B 日本は反対したらしいよ。
- A そうなんだあ・・・
- A 今までにも核兵器に関する条約ってありましたよね？
- B 今までの条約は数を減らそうとか、持っている国を増やさないとかの条約。持って
いけば攻めてこれないだろうから「安全保障」のために必要だ！「必要悪」だと言っ
ていた。今回は、「そうじゃなくて人道的に絶対ダメ！「絶対悪」！」だと禁止した。
- C 「絶対悪」だとずーっと訴えてきた被爆者の願いが盛り込まれたことが一番の大き
な違いだね。
- A 非人道的だから絶対に使ってはいけないって、すでに禁止条約ができている兵器が
あるんですよ。
- B そう、前回の朗読劇の時に取り上げたよね。
- A 生物・化学兵器、対人地雷、クラスター爆弾。
- B そこにやっと、一番入れるべきだった「核兵器」が入ったわけです。
- A でも、核保有国は、会議に参加してないですよ。それじゃああまり意味がないん
じゃないですか？
- C 晶子が今言った中で「対人地雷」や「クラスター爆弾」の禁止条約も米国・ロシア・
中国は参加してないけど、とても大きな影響力があるのよ。
- B 非人道的だという国際的な法律ができると、それを製造することも許されないとい
う認識が広がる。そして企業が製造をやめ、金融機関が融資をやめるってことが実際
に起こってるのよね。核兵器禁止条約でも同じ。
- A あ、前の朗読劇の時にりそな銀行なんかがいち早く行動に出て、「核兵器製造に関
わる企業には融資しない」と宣言したって話があった気がする。
- B そう、条約が採択された 2017 年以降、世界で百以上の金融機関が核兵器製造企業
への融資をやめてるんですよ。
- C そう！今は企業がグローバル化してるからそういう企業に融資すること自体がリ
スクになりつつあるのね。
- A やっぱ条約ができてよかったですね！
- C とは言ってもまだまだ道は遠いけどね。現在の状況は知ってる？
- B 今年の 7 月 12 日現在、署名：86 の国と地域、批准：55 の国と地域。
- C 発効した時が 51 ヶ国だから四か国しか増えてないのね。
- A 「核兵器禁止条約」のことはわかりました。前からある核兵器に関する条約はどう
なったんですか？
- B 「核拡散禁止条約」NPTのことね。1970 年にできた条約だね。すでに核兵器を持
っていた米英仏中ロ以外の国は核を保有してはいけない、持っている国は減らしてい
こうという条約で、現在 191 の国と地域が加盟している。五年に一度再検討会議を開
いて核軍縮への道筋を話し合うんだけど、行き詰っているの。去年が開催される年だ
ったけどコロナでできず、今年も先月開催の予定だったけどできなかった。元々、こ

の条約は核兵器の全面禁止からは程遠いものなんだよね。

- A 日本は唯一の戦争被爆国だし、核兵器を持っていないんだから、やれることや発言できることはたくさんあるはずだよ。
- B さっきの「核兵器禁止条約」だって、批准していない国もオブザーバーという形で参加できるので、日本はまずそれで関わってなるべく早く署名するように国民が頑張らなくっちゃ！
- C 今日この後、川崎哲さんが講演をしてくださる。この条約をどうやって広めていき完全な核廃絶のために私たちが何をすればいいのかのヒントが聞けると思うよ。
- A 私たち市民ができることっていえば、狛江市平和都市宣言もそうですよね。
- B 1982年に生まれたんですよね。
- C その頃は米国・当時のソ連を中心に核戦争が起こるんじゃないかという危機感が実際にあった。それで、「自治体としても平和都市宣言をしてほしい」という請求が各地の市民の中から出てきたんです。狛江は早い方でしたね。
- B そして、市民が力を合わせた結果、「狛江市平和都市宣言」は市議会で、全会一致で採択されて、これが市の宣言として扱われることになったんだ！
- A そう、全会一致なんですよね！（すべてはアート♪が流れてくる）
- B あ、もう時間がないので最後のところをみんなで読んで終わりにしましょう。字幕が出るのでみなさんも一緒に読んでください。

三人 せ～の！

全員 われ、われの海や大地は、戦争のために汚されることがあってはならず、人類の生存のために利用されるべきものである、と確信するがゆえに、非核三原則を守り、狛江市および狛江市民は、各平和宣言都市と手を結び、核兵器完全禁止・軍縮、全世界の非核武装化にむけて努力することを宣言する。

昭和五十七年六月二十一日

東京都狛江市議会

